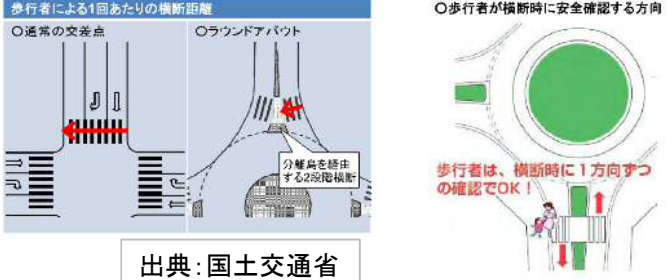


## 第7号議案 庄原都市計画道路の変更に関する意見書の要旨

意見書数 7通 7名

意見書の要旨	件数	人数
<b>1 計画に関する意見</b>		
<b>(1) 計画全般に関する意見</b>		
①信号機のない交差点となるが、歩行者の安全確保についてどのように考えているのか。	1	1
②人口が減少している庄原市において、なぜ何年も前に決定された都市計画道路の整備を行うのか。(上野公園線)	1	1
③現状も十分な幅員が確保できている中で、これ以上拡幅する理由を教えてください。(上野公園線)	2	2
④広島県庄原庁舎付近の歩道については、不完全ではあるが既設歩道があるので修繕のみで十分である。	1	1
⑤交差点の中心位置は計画区域が最小限となる位置にするべきである。	1	1
<b>(2) 住民への説明に関する意見</b>	1	1
①当初決定案からの変更案が提示されたが説明が十分でない。(上野公園線)		
<b>(3) 補償及び生活再建に関する意見</b>		
①計画の変更により建物移転の必要があるが、現地の場所から変わりたくない。どうしても移転が必要であれば、代替地を検討していただきたい。	2	2
<b>2 その他に関する意見</b>		
①庄原駅から上野公園までの間の老朽化した舗装や側溝を今回の計画と合わせて整備していただきたい。	1	1
②上野公園線の沿道には桜が植えられており、上野公園と一体的に桜の名所として親しまれているので、工事後も桜を植えて市民の潤いの場所としていただきたい。	2	2

## 庄原都市計画道路の変更に関する意見書に対する事務局の考え方

意見書に対する事務局の考え方
<b>1 計画に関する意見</b>
<b>(1) 計画全般に関する意見</b>
①ラウンドアバウトの交差点形状では、横断歩道を分割する分離島と呼ばれる歩行者待避所を設置することから、歩行者は2段階での横断となるため1回あたりの横断距離が短くなります。また、2段階での横断では歩行者の方向確認が1方向のみとなるため横断時の視認性が高くなります。 加えて、ラウンドアバウトの構造上車両の交差点流入時・流出時の速度は減速するため、重大事故の可能性が低い交差点となります。 このことから、信号機の設置がない交差点となりますが、歩行者の安全性は確保されていると考えています。

②～④道路の設計基準である「道路構造令の解説と運用」に基づくと、現状の道路では必要な車道幅員を確保できていないことや5枝の変形変則交差点であること、歩道が設置されておらず歩行者は蓋掛けされた水路上を通行していることなど、車両と歩行者の双方の安全性が確保できていない道路となっています。 このことから、安全性・利便性が高い交通を実現するために本計画の整備が必要と考えています。
⑤道路の設計基準である「道路構造令の解説と運用」に基づき、交差点への流入・流出時の角度など安全性・利便性を確保する観点から交差点の中心位置を決定して、必要な区域のみ変更しています。
<b>(2) 住民への説明に関する意見</b>
①本計画については、令和4年7月に関係者への説明会を開催し、計画の必要性や内容について理解と協力が得られるよう努めてきたところです。内容についてご理解いただけるよう、今後とも、地元住民をはじめとする関係者に対して誠意をもって十分な説明や協議を行ってまいります。
<b>(3) 補償及び生活再建に関する意見</b>
①移転等が生じることとなった方々については、関係者の意向を十分に聞きながら、代替地の確保や生活再建の問題等について、誠意を持って対応していくこととしています。 具体的な補償や代替地の問題については、関係機関とも連携を図りながら、事業実施の段階で関係者に対し、事業説明会等により、十分な説明や協議を行い、理解と協力を得ていくことを確認しています。
<b>2 その他に関する意見</b>
①老朽化した舗装や側溝など公共施設については、優先度に応じて整備しています。要望箇所についても、現地を確認するとともに、必要に応じて関係機関と連携を図りながら整備を検討することを確認しています。
②上野公園線の沿道の桜の植え替えについては、関係機関と調整を行うことを確認しています。